

令和7年度 子ども家庭部 施策展開方針 計画書

1 まちづくり政策(子ども家庭部関係分)

政策 3 福祉・保健・医療	政策展開の方向性						
	全ての市民が、いつまでも元気に過ごせるよう、健康意識の向上と健康づくりの推進に努め、病気や怪我をした際には、必要な治療が迅速かつ適切に受けられるよう、地域医療体制と市立病院経営の安定を図ります。 また、誰もが安心して生活できるよう、保険・医療など社会保障制度の周知に努めるとともに、制度の安定した運営を図ります。 さらに、障がいのある方や高齢者が、地域でいきいきと自立した生活を送れるよう、サービスの充実を図るとともに、市民の地域福祉に対する理解を深め、人材を育成し、確保することで、みんなで支え合う地域づくりを推進します。						
	令和7年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）						
	3-(3) 障がい者福祉の充実						
	・障がい者支援・えべつ21プラン(第5期障がい者福祉計画・第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画)に基づき、「障がいのある方の自立を地域で支える共生社会の形成」に向け、障がいのある方が地域で安心して生活ができるよう、関係機関との協議や障がいについての理解促進を図ります。 ・障がいのある子ども一人ひとりの状況に合わせて、生活能力を高める訓練や社会との交流を促進する発達支援の充実を図ります。 ・医療的ケアが必要な障がい児やその保護者が安心して過ごせる環境をつくるために、事業所へ運営費の一部を補助し、受け入れやレスパイトを促進することで、総合的に支援します。						
	政策の成果指標	単位	(初期値)	R6年度	R7年度	R8年度	目標
	地域全体で支え合う福祉ができていると思う市民割合	%	39.0				↗
子ども家庭部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							
「障がい者支援・えべつ21プラン(第3期障がい児福祉計画)」 児童発達支援の利用人数		人	4,284				↗
「障がい者支援・えべつ21プラン(第3期障がい児福祉計画)」 放課後等デイサービスの利用人数		人	7,500				↗
「障がい者支援・えべつ21プラン(第3期障がい児福祉計画)」 障害児相談支援の利用人数		人	950				↗

政策 6 子 育 て ・ 教 育	政策展開の方向性						
	安心して子どもを産み育てられるよう、子どもが健やかに育つ環境づくりと、仕事と子育てを両立できる子育て世代にやさしいまちを目指します。 また、子どもの権利を尊重しながら、地域全体で子育てを温かく見守るまちづくりを進めます。 教育では、学校などでの様々な学びが、子どもたちの「生きる力」となり、今後、社会が変化し先行きが見通せない時代となっても、自分で課題を見つけ、学び、考え、判断、行動して、それぞれが思い描く夢を実現していく資質や能力が身に付くよう、地域とも連携して子どもたちを育みます。						
	令和7年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）						
	6-（1）子育て環境の充実						
	・「第3期江別市子ども・子育て支援事業計画」（令和7～11年度）に基づき、子育て支援に係る総合的な施策を展開し、子育て環境の充実を図ります。 ・こども基本法に基づき、国の「こども大綱」や道の「こども計画」の内容を踏まえ、子ども・若者に係るニーズを分析・把握したうえで、江別市の「子ども計画」を策定します。 ・「江別市子どもが主役のまち宣言」を踏まえ、子どもの権利を尊重したまちづくりを目指すため、「子どもの権利に関する条例」の制定に着手します。 ・子どもが放課後安心して過ごし、保護者が仕事と子育てを両立できるよう、計画的に放課後児童クラブの施設整備を進めるとともに、放課後児童クラブが安定的にサービスを提供できるよう、引き続き、運営事業者に必要な支援を行います。 ・放課後児童クラブの待機児童対策として、児童センターにおいてランドセル来館を実施するための体制を整備し、子どもの居場所を保障し、保護者の就労を支援します。 ・子ども食堂など市内で子どもの居場所づくり活動等に取り組む団体等の運営支援を行い、地域全体で子どもたちを見守る環境の充実を図ります。 ・保育需要の動向を見定めながら必要に応じて利用定員の見直しを行うなど、既存施設の活用を中心に、仕事と子育てを両立できる環境整備を進めます。 ・子育て支援員研修の実施や保育士等人材バンクの利用促進、保育士等への奨学金返済支援・宿舍借上支援を行う事業者に対する助成を継続するほか、より効果的な保育士等人材確保策を検討し、保育人材の確保に努めます。 ・教育・保育施設における障がい児等の受入に対する補助を新設し、保育の質の向上を図ります。 ・市内8か所の子育て支援センターでは子育て家庭や妊娠期の家庭が気軽に集い、子どもたちが安心して遊び、子育ての不安を相談できる場を提供し、子どもの健やかな育ちを支援します。また子育て支援コーディネーターや助産師が地域のあそびのひろば等へ出向き子育て相談を実施し、関係機関との連携を図りながら支援の充実を図ります。 ・妊娠を望む市民の経済的負担を軽減するため、不妊治療のうち、医療保険適用外となる先進医療に係る治療費と交通費の一部助成を継続します。 ・切れ目のない健診体制の整備を目指して、令和7年度から新たに「1か月児健康診査」を実施し、児の健やかな成長・発達を確認し、育児支援を必要とする保護者への早期支援を行います。 ・妊産婦や乳幼児に伴走型相談支援を実施し、産後ケア事業や母子保健事業の活用を促すことで、見通しをもち、安心して子育てができる体制づくりを強化します。 ・0歳から中学生までの子どもの医療費の一部を助成することで、保護者の負担軽減と子どもの健康増進を図ります。 ・すべての妊産婦、子育て世帯、そして子どもに切れ目なく支援を提供するため、母子保健と児童福祉の両方の機能を持つ「こども家庭センター」を運営し、関係機関との連携を強化して支援体制を充実させます。 ・発達相談や通所支援等を通じて、子どもの発達を促し、保護者の不安軽減に努めるとともに、障がい児を支援する関係機関同士の連携推進を目的とした学習会等の取組を継続します。また、障がいや発達に課題のある子どもを早期に発見し、早期に支援を行うため、ニーズが増加している幼稚園・保育園等、子育て支援施設への巡回相談を一部業務委託する等、実施手法を検討しながら、相談体制の充実を図ります。						
	政策の成果指標	単位	（初期値）	R6年度	R7年度	R8年度	目標
	子育て環境が充実していると思う市民割合	%	49.8				↗
	子ども家庭部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
	「江別市子ども・子育て支援事業計画」 保育所定員数	人	2,147				↗
	「江別市子ども・子育て支援事業計画」 放課後児童クラブ定員数（提供体制）	人	924				↗
	「江別市子ども・子育て支援事業計画」 地域子育て支援拠点事業利用者数	人	92,840				→

2 えべつ未来戦略(子ども家庭部関係分)

戦 略	■ 具体的施策 「関連事業」(担当課)
【戦略1】 子どもが主役のまちをつくる	① 地域子育て支援の充実 「地域子育て支援拠点事業」(子ども育成課) ② 就学前児童への支援 「保育人材等確保対策事業」(子ども育成課) ③ 学齢児童への支援 「児童館地域交流推進事業」(子育て支援課) 「放課後児童クラブ運営費補助金」(子育て支援課) 「放課後児童クラブ運営事業」(子育て支援課)
【戦略2】 幸せに歳を重ねられる暮らしをとどける	
【戦略3】 みんなの働きがいと、元気な経済をつくる	
【戦略4】 地域から地球温暖化防止に挑む	
【戦略5】 デジタル技術で住みよい明日を切りひらく	

3 子ども家庭部の資源

		実 績			予算額	
		—	—	—	令和6年度	令和7年度
歳出予算額 (千円)	一般会計 (A)					10,001,310
	特別会計 (B)					0
	合計 (A+B)	0	0	0	0	10,001,310
正職員人件費 (千円)	人工 (a)					96.00
	平均単価 (b)					7,904
	人件費 (a×b)	0	0	0	0	758,784
総 額		0	0	0	0	10,760,094